

秋田内陸縦貫鉄道沿線における公共交通ネットワークの改善

〔秋田内陸地域公共交通連携協議会〕

平成20年9月9日設置

本格的な少子高齢化社会へ対応するため、地域の各主体が連携し一体となった取組む必要がある。そこで、地域づくりの観点も加味し、集落や各施設を結ぶ公共交通を再編し、地域間交流の促進や少子高齢化への対応など、地域の実情に適した公共交通体系の構築を目指す。

○秋田内陸線駅の二次アクセスの整備 ○秋田内陸線の利便性向上及び利活用促進 ○地域交通と沿線観光地・商業施設との連携強化

路線バスの
利便性向上



秋田内陸線の
近代化促進



集落・中心街と内陸
線駅を結ぶ二次ア
クセスの整備



乗合タクシーの導入

秋田内陸線の
利活用促進



企画切符の作成等

秋田内陸線の
利便性向上



秋田内陸縦貫鉄道



秋田内陸線
を活用した
観光客誘致



イベントツアー企画等